

Weekly Report

2023-24年度
国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう

事務局：460-0003
名古屋市中区錦1-13-19
名錦ビル7F
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

創立：1980年(昭和55年)1月10日
会長：千秋 季頼
幹事：本多 誠之
クラブ委員長：萩原 孝則
例会日：毎週木曜日PM12:30～
会場：ヒルトン名古屋

2023-24年度
名古屋瑞穂ロータリークラブ
会長のテーマ
「より楽しく、誇りある瑞穂ロータリークラブ」
～明るい未来に向けて、希望を生み出そう～

第2090回例会

～青少年奉仕月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2024年5月16日(木) 晴 第36回例会

司会：山崎 真一郎 会場委員
斉唱：「それでこそロータリー」「四つのテスト」

会長挨拶

千秋季頼会長

皆さん、こんにちは。ゴールデンウィークは楽しく過ごされましたでしょうか？熱田神宮も、先回ご紹介したお祭りをすべて滞りなく奉仕出来、ほっとしております。

さて、今週の会長挨拶では熱田神宮の元宮といわれている氷上姉子神社をご紹介します。

熱田神宮の摂社ですが、ご存じでしょうか？名古屋市区区大高町にある神社で、名古屋高速の大高インターのすぐ近くにあり、高速道路のすぐ横に、火の上と書いて火上山という場所がありますが、この場所は、元尾張の国造乎止与命の館があった場所です。乎止与命は、以前、上知我麻神社の御祭神として紹介しましたが、日本武尊と結婚された宮簀媛命の父親です。この宮簀媛命を御祭神として、西暦195年に創建されています。熱田神宮創建から約80年後という、こちらも1800年を超える由緒の深い神社です。

日本武尊は、東国平定を終え、尾張国に帰還し、この火上の里の館にとどまって、討征の疲れをいやしておりました。かねての約束通り、宮簀媛命と結ばれ、幸々に暮らしておりましたが、伊吹の方の賦を成敗するため、草薙神剣をこの地に残して、伊吹に向かい亡くなってしまいました。草薙神剣は、この地、氷上の里にお祀りされていたので、元宮と称しています。大変由緒深い場所です。この地名はかつて『火』の字をあてていました(火高、火上)。

昔、この場所は、火に高い、火の上と書いて『火高火上』と称していたそうですが、お社やこの地の民家が、火による災害をたびたび被ったので、それまでの地名の『火』の字を忌み嫌って、火高の火を大に、火上の火を氷に改めたと言われていました。

また、姉子については、日本武尊が御東征の帰路に、甲斐の国で、宮簀媛命を恋い偲んで詠まれた御歌に『火上山子』と出てくるところから付けられたと言われていました。現在の御本殿は、伊勢の神宮や、熱田神宮の本殿が神明造であるのに対して、この地域独特の尾張造の本殿です。これは、明治時代に、熱田神宮の御本殿が神明造に改められた際、明治26年に別宮八剣宮の御本殿だった建物を移築したためです。この御本殿も由緒が深い建造物です。

また、氷上姉子神社でも様々なお祭りがあります。先日ご紹介しました通り、毎年5月6日には、小さな粽を配る氷上姉子神社頭人祭が行われます。また10月の第一日曜日には例祭があります。現在は、各町から18台ほどの笠車が引き出され、町全域を練り歩いて境内に集合します。大高町は終日祭り一色で賑わいます。大高に行く機会は、なかなかないかも知れませんが、是非一度ご参拝いただければ 大変ありがたいと思います。

出席報告

花井 芳太郎 出席委員長

会員69名 出席48名 (出席計算人数56名)

出席率 75.00%

ニコボックス

花井 芳太郎 ニコボックス委員長

- 千秋会長、東南ロータリー例会の件よろしくお願い致します。
名古屋東南ロータリー 神保様・廣田様
- 家内の誕生日に綺麗なお花をありがとうございました。佐治 寛行さん

- 本日の卓話、田中宏君楽しみにしています。
5/3で76才になりました。 長瀬憲八郎さん
- 5月は誕生日と結婚記念日です。また渡辺さん先日はお世話になりました。
工場見学楽しみました。 堀 慎治さん
- 4月28日は家内の誕生日でした。綺麗なお花を贈っていただき
ありがとうございました。 伊藤 豪さん
- 皆さんお久しぶりです。私は去る25日に前立腺がんと診断されました。
今後はホルモン療法にて治療いたします。女性ホルモンを注射されるので
少し大人しくなると思います。早速ウッチーが特効薬を送ってくれました。
ご親切に感謝します。 野崎 洋二さん
- 大学同期会が7年ぶりに名古屋で開催されました。熱田神宮参拝して
蓬萊軒でひつまぶし会食し、亀屋芳弘のお土産を持って各地へ帰って
いきました。村上さんお世話になりました。 渡辺喜代彦さん
- 本日、卓話をさせていただきます。よろしくお願いします。 田中 宏さん
- 田中宏さん卓話楽しみにしています。本日脳ドッグに行ってきました。
問題なしです。税務調査もやっと終わりそうです。 岡部 光邦さん
- 宏さん今日は頑張ってください。
湯澤 勇生さん 内田 久利さん 本多 誠之さん
杉江 建亮さん 鳥山 政明さん 今川 知也さん
- 先日のルーズ会では、皆様にお世話になりました。幹事の花井さんには
とてもお世話になりました。ありがとう。 松波 恒彦さん
- 先日のルーズ会では皆様に大変お世話になりました。楽しい時間を
過ごさせていただきありがとうございました。
加藤 直大さん 田中 良知さん 小栗 栄治さん
- 楽しみにしていたルーズ会、行けずに残念でした。
次回を楽しみにしています。 萩原 孝則さん
- 今朝の早朝練習は残念ながら中止になりました。
来週も皆様お願い致します。 鈴木 淑久さん

幹事報告

本多誠之幹事

- 5/16(木) 13:40～ 第6回クラブアッセンブリー・第11回理事会
ヒルトン4F「杉の間」
- 5/23(木) 12:30～ 通常例会 ヒルトン名古屋4F「桜の間」
13:40～ 次年度予定者会議 4F「竹の間」
- 5/30(木) 18:00～ 第3回クラブ奉仕委員会 ヒルトン4F「杉の間」
19:00～ RAC・IAC 合同例会 ヒルトン名古屋 4F「竹の間」
- 中部名古屋みらいロータリークラブ
→名古屋みらいロータリークラブへ名称変更
- 愛知ロータリーEクラブ
→愛知友愛ロータリークラブへ名称変更

委員会・同好会報告

麻雀同好会

5年前に入江さんが発起人となって始まった麻雀同好会ですが、大体2～3ヶ月に一回のペースで名駅の琥珀で行われておりますが、最近同好会にご興味を持っていただける方も増え、点数計算等ルールを改定しようということで、ボックスの方へ新たなルールの案を入れさせていただきました。ご確認お願い致します。次回は6/13(木)です。よろしくお願い致します。

5月お誕生日おめでとう

高村 博三さん 榎田 篤弘さん 長瀬憲八郎さん
堀 慎治さん 大和 直樹さん 田中 良知さん

皆さん、こんにちは、改めまして本日、卓話を仰せつかりました。田中宏です。本日は「歩き旅(一人で気ままに出かけよう)」と題しまして、私が実施してきた事をお話しさせていただきます。よろしくお願いいたします。



人生には入学、卒業、就職、昇進、結婚、またロータリークラブへの入会など様々な節目があるでしょうが、私自身がこの世に生を受けて半世紀を迎えるに当たり、50歳を節目に今までやっていなかった「何か」をやりたいと当時考えていました。

友人からは登山を推奨されましたが、私は未経験者で山への単独行動は世間様に迷惑をかけるようなものと自覚をしていました。山では何かあった際には誰も助けはくれませんが、携帯電話で救急車を呼ぶことも困難です。空や海に係るレスジャーもなかなか気軽に始められることが思いつきませんでした。自分のペースでリスク回避を最小限にできることを考え、また一人で思い立った時に可能なことは何があるだろうかと考えた結果、街道沿いを歩く「歩き旅」にたどり着きました。

特別な道具は不要で、道路沿いを歩いて転んで歩けなくなったら、携帯電話で救急車も呼べますし、気分が悪くなり道端に倒れていたら、誰かが見つけてくれるのではないかと、など随分と勝手な思い込みもありました。また歩くことによって身体の維持をしていくことはゴルフにも良い効果があれば一石二鳥になるのではないかとこの良い解釈もありました。

旅の基本行程は日帰りとして設定しました。JRの駅を出発地にして一定区間を歩き、目的地の駅に到着して電車で帰宅。次回は前回の到着駅を出発地にして目的地の駅に向かって一定区間を歩くという、尺取虫のように分割して進んでいきます。ただ漠然と歩くだけではつまらないので「旅」に相応しい舞台として江戸時代の街道「旧中山道」を選びました。これは南木曾町の方々と交流があった際に聞いた「旧中山道 馬籠峠(馬籠宿から妻籠宿)」の話が頭に残っていたのと、JR中央線の利便性が高かったからです。(実際には国道19号線の起点である熱田神宮西側から、最終目的地はJR塩尻駅となりました。)

このようなことを考えているうちに、めでたく50歳になり、歩き旅初回の2015/1/10(土曜日)を迎えました。初回は自宅から中央線JR大曾根駅まで8キロほどの距離。リュックサックに水筒を詰め込み背中に背負って、自宅を出発。普段は車で通る道も歩いてみると速度が違うので見えるものも変わってきます。足元を見れば平らに見えた歩道は傾きがあり、側溝にハマっている蓋は凸凹だらけ。周囲を見れば、その昔喫茶店だったところは錆付き文字もかすれた看板とシャッターだけが残っていました。

小学生の時、友達と自転車と遠足のおやつを買いに行き、守山のユニーはピアゴに変わっていたり(この時は後日先生に、ばれて校区外に子供だけで出かけた、叱られました)、シャッターの降りた寂しい通りのなかには、活気のある八百屋さんもあり、歩道まで美味しそうな焼き芋の香りが漂ってきました。瀬戸線の矢田駅近くのカーブを過ぎて、「そういえば、このカーブも昔は西方向への道はなかったっけ?」など様々なことを考えながら、大曾根駅に到着。疲労感と共に自分の足で歩いた達成感は想像していた以上に私を心地よい気持ちにしてくれました。

初回の達成感に味を占めて以降、時間のやり繰りと天気予報を見てJR中央線沿いに出発起点駅を変えながらバス利用や、時には車で高蔵寺駅や多治見駅まで行き、その後電車で移動して回数を重ねていきました。7回目の春日井市と多治見市の間にある内津峠(ここまではバスで向かいました)から多治見に向かった際には、すれ違う車のドライバーさんが「何でここに歩行者がいるんだ?」と思議そうに見ている気がしました。

恵那から中津川に抜けるあたりに「基平坂(じんべいざか)」という距離は短い急な坂道があり長い間旅人に嫌われていたようです。明治13年6月に明治天皇が伊勢方面視察の際に中山道をお通りになることになったので、坂の頂上を2メートルほど掘り下げて坂の傾斜を少しならかにして、アラビア馬二頭での馬車が無事に坂を越すことができたという案内看板を見ることができました。

12回目にはメインの馬籠宿から妻籠宿を通過してJR南木曾駅の行程。ちょうどGWだったこともあり、多くのハイカーと共に未舗装路を歩きました。初回から舗装路ばかりだったので少々不安ではありましたがハイカーで踏み鳴らされた道は天候が良かったため運動靴でも歩き易かったです。この時、雨が降った直後であれば滑って大変だったでしょうし、昔の草鞋(わらじ)と足袋(たび)では濡れて足が重くなり、土で足を取られて滑ることも多かったでしょう。

話が横道に逸れますが、毎年私の地元、尾張旭市では秋祭りが行われ、私も棒の手の演武を披露しますが、衣装として足元は股引(ももひき)と脚絆(きゃはん)、足袋(たび)に草鞋(わらじ)です。昔、テレビドラマで中村敦夫さんが演じていた、木枯らし紋次郎の足元のスタイルでして、秋祭りは少雨でも開催されるのですが、自分の体験から雨で濡れた道を一日歩くと足袋が水を含んでしまい、足がふやけてしまいます。ふやけた足で歩くと怪我をし易いですし、身体も冷えますその昔に移動されていた人はよほどの急ぎ旅出ない方以外は雨降りになると旅館屋に連泊されたことでしょう。

13回目に大ハブニング。JR南木曾駅を出発して1時間ほど歩いたので歩道の奥で座って休憩をしていた9:30頃、1台の軽自動車私の目の前の左側ガードレールにぶつかり、左前方を損傷して衝撃の反動で右側車線に停止したのです。「これは、えらいこっちゃ」と私自身の安全確保をしながら乗員の怪我の確認。乗っていた母子2名に怪我はないので、2次災害防止のため、車外に出て私が休憩していた歩道へ誘導。うるたえているだけの母親に代わって警察へ電話連絡。通りすがりの車両に協力を求

め、即座に交互通行の車両通行規制をしました。

警察への電話では、「すぐ行きます」とは言われたものの、ほどなく北から到着したのは白バイ隊員1名のみ。通りすがりの車両協力者にお礼を言って白バイ隊員と交代してもらい、私と白バイ隊員で交互通行の車両通行規制を続けていたら、ようやくパトカーで2名が到着したので、私の交通誘導任務は終了しました。

その後は目撃者・通報者として警察官からの聞き取り調査に協力しました。まずは免許証を見せ、携帯電話の番号を伝えて今朝はJR南木曾駅から今日の目的地であるJR野尻駅まで歩いている途中であることを説明しましたが、なかなか理解が得られません。要するに「こんな場所を一人で歩いているとは、怪しいな」という事だったかも知れません。色々事情を説明して携帯電話の番号を伝えてご理解いただき、運転していた方からお礼を言われて、その場を後にしました。(事故発生から25分ほど拘束されました)

事故の原因は母親が祖父母宅まで子供を送っていく際、連絡をしようとして助手席の鞆に入れていた携帯電話を取り出そうとして運転操作を誤ったのが原因の自損事故のようでした。皆さん、運転中には携帯電話の操作はしないように気を付けましょう。この街道沿いの歩き旅では塩尻までの道中旧中山道の馬籠から妻籠間を除くと、ほとんど歩いている人に会いませんでした。通常は車や電車で移動するので当然です。

しかし、一度だけで木曾福島から木曾平沢に向かっていった時に私の進行方向とは反対側からウォーキングツアーのような団体と遭遇したことがありました。最初は10人ぐらいのグループだったので、「こんにちは」と各人に挨拶をしたのですが、少し間隔が空いたら次から次と歩いてきました。(30人ほどのように思います)先方は1回「こんにちは」と言えば済むのですが、私はずっと(20分ほど)、オウムのように「こんにちは」を繰り返してしまいました。あれには、参りました。

様々なことがありながらも、都合17回で、無事にJR塩尻駅に到着。その後、何となく中途半端な気持ちが沸き上がり国道19号線の起点になっている熱田神宮からJR大曾根駅までの名古屋市内分の1回を加えて、初回から2年ほどで完歩しました。(旧中山道と関係ないかも知れませんが…)

完歩した後は少し大人しくしていましたが暖かくなり2017年4月に第2ステージと題して、南を目指して自宅から師崎までを目指して歩き始めました。このときは2回目の本郷から塩釜口へ歩いている途中で、メンバーの鈴木伸一さんの会社の横を通りまして大府、半田の亀崎(ここのJRの駅が古い駅舎で趣がありました)、武豊からは海沿いの国道247号線を通って、河和昔の戸塚コットスクールの横を通って師崎まで(都合7回、約69km)10月には完歩。また寒い時期は冬眠に入り、約1年後の2018年11月に第3ステージとして西を目指して、琵琶湖(長浜)に到達する行程この時は随分と熱が冷めていたので期間が空いてしまっていて岐阜羽島まで到着したのが2019年10月だったので、関ヶ原越えは暖かくなって雪が解けてから行こうと思っていたら、コロナ禍に突入。

マスクして電車に乗り、一人で歩いて、電車で帰ってくるなら、何も問題が無かるうとは考えたものの県外への不要不急の移動自粛が求められていたので、結果として2019年10月から2020年10月まで1年の中断期間が生じました。

再開したのがワクチン接種も済ませた2020年10月31日。岐阜羽島駅から大垣、関ヶ原から近江長岡に抜けるときは、ちょうどNHKの大河ドラマで「麒麟が来る(明智光秀)」が放映されていたので、この辺りを歩いていたのではと当時に思いを巡らせていました。こんな場所に行くことができたのも歩き旅の魅力でした。

琵琶湖への旅も達成したので、今度は東に。第4ステージは浜名湖の弁天島が目的地。まだ道半ば、というか1回しか実施していません。今は便利な世の中で車でも移動ができるのに「なぜ、そんな無駄なことをするのか?」と真顔で言われたこともあります。ほとんど変人扱いです。確かに1時間半もかけて歩いたのに、電車だと10~15分です。(初回の大曾根からだ330円、お金のありがたみが身に沁みます)しかし、私は移動手段が自分の足しかなかった時代に思いを馳せて各地を歩くことで、先人の苦勞を知り、歩いているからこそ見える景色や感覚を楽しんできました。

当初目的としていたゴルフに良い効果があったかどうかは疑問ですが、素晴らしい思い出が出来て、時折、車や電車で近くを通ると、歩いていた時のことを思い出します。あと8か月ほど60歳になるので、年明けの誕生日までには現在実施している、第4ステージの浜名湖までの旅を終えて次に何をしようかと考えています。

50代は歩いたので、60代は自転車と同じ行程を走ってみることも楽しいでしょうし、他の事でも、今しかできないこと、やりたいことができれば良い思い出になります。10年後に卓話の依頼があったらお話が出来るよう、何かに取り組みます。

例会のご案内

- 今 週 5月23日(木)
 - 卓 話: 会員卓話 小栗栄治さん「イニシエーションスピーチ」
 - 時 間: 12:30~
 - 場 所: ヒルトン名古屋4F「桜の間」
- 次 週 5月30日(木) RAC・IAC合同例会
 - 時 間: 19:00~
 - 場 所: ヒルトン名古屋4F「竹の間」
- 次々週 6月6日(木)
 - 卓 話: 外部卓話: (株)鈴木紙器 代表取締役 鈴木 洋様
 - 時 間: 12:30~
 - 場 所: ヒルトン名古屋4F「竹園の間」